

第11期 第5回国立市ごみ問題審議会 議事録

日時 平成31年(2019年)1月22日(火)午後2時00分～午後4時00分
場所 国立市役所 第3会議室
出席者 山谷会長、十松副会長、江川委員、隈井委員、高麗委員、堀越委員、山崎委員
(委員は50音順)
事務局 橋本生活環境部長、中村ごみ減量課長、深谷清掃係長、岡田清掃係主事

【議事要旨】

1. 国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況の評価について

資料に基づき、国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく行政による進捗状況の評価(平成29年度分)について事務局から説明した。

【山谷会長】「審議会の評価等」について、ご意見をお願いします。

【十松副会長】13ページの③リサイクル家具等販売の促進の「審議会の評価等」が空白になっています。

【山谷会長】ここを空白にした理由はあるのでしょうか。

【事務局】ご意見等をいただいていたため、空白にしました。改めて、ご意見をいただければと思います。

【十松副会長】自転車も家具もとても丁寧に修理をしていて、人気もあると思うので、今後も続けてほしいという感じでしょうか。

【山谷会長】国立市の粗大ごみの量は多摩26市の中で何番目くらいでしょうか。ちなみに、一番多いところは武蔵野市なのですが、その審議会で、武蔵野市は所得が高い世帯が多いので家具ストックが多く、転出入も結構あり、さらにリサイクルプラザのような場所がないことが原因ではないかという議論がありました。これに対して、国立市はリサイクル自転車やリサイクル家具の販売会までやっていて、こういうところでどのような違いが出るのかということは非常に興味があります。

【江川委員】人のにぎわいをつくる場所にもなっていると感じました。

【事務局】収集量は下から7番目で、持込量も合わせると10番目です。

【隈井委員】国立市は学生が多いこともあるかと思います。リサイクル自転車の台数が3分の2に減っていますが、粗大ごみで出された数が減ったのでしょうか。

【事務局】粗大ごみで出されたものと違法駐輪されたものをリサイクルしているのですが、違法駐輪されたものがかなり減ってきているので、台数が減っています。平成30年度はさらに少なくなるのではないかと考えています。

【隈井委員】国立市とメルカリの共同でシェアサイクルの実験が行われましたが、販売でなく、シェアという形も考えてもよいかと思いました。

【十松副会長】終活もあるでしょうか。

- 【山谷会長】 遺品も結構出るのではないかと思います。国立市は学生が多いですが、必ず転出、転入をするので、転出する学生の家具等をリサイクルし、それを転入する学生が安く購入するというマッチングができるといいですね。
- 【山谷会長】 審議会の評価としては、国立市は学生や中間所得層の人が結構多く、終活や、遺品が出やすい状況を踏まえて、リサイクル家具、自転車の利用拡大にさらに取り組んでほしいということで、いかがでしょうか。
- 【隈井委員】 前は「今後も販売ペースを落とすことなく、継続して取り組んでほしい」という評価になっていたのですが、必ずしも粗大ごみが出るわけではないので、リユースが適切に行われることが重要ですね。
- 【山谷会長】 行政ができることはマッチング、情報提供ですね。これを充実させることで、さらなるリユースの活用に取り組んでほしいということで、いかがでしょうか。
- 【江川委員】 7ページの②マイバッグ、マイ箸等の利用促進ですが、「バッグ」と「バック」が混在しています。
- 【山谷会長】 「施策の方向性及び目標」は「市民がマイバッグやマイ箸等のリユースグッズを利用し、また使い捨て製品ができる限り廃棄されない状態を目指しつつ、マイバッグキャンペーンの実施、レジ袋NOデーの積極的な啓発を行う」ということで、いかがでしょうか。
- 【十松副会長】 12ページの②フリーマーケット等の支援の「審議会等の評価」の「捨てるものを修理・改造して、それをイベントで使用する」とは何のことだったのでしょうか。
- 【隈井委員】 去年3月に行われたPlay Me, I'm Yoursのことですね。
- 【江川委員】 普通の人にはよくわからないと思うので、もう少し具体的に書いたほうがよいと思います。
- 【山谷会長】 「家具やピアノなど、捨てると思っているものを修理・改造して、それをイベントで使用するのも、付加価値を加えた一種のリユースと言える。環境フェスタくにたちだけでなく、様々なイベントとリユースを組み合わせ工夫を模索してほしい」という感じで変えましょう。
- 【十松副会長】 17ページの④分別の徹底の「審議会の評価等」ですが、「容器包装プラスチックについては、透明の有料袋」としたほうがよいかと思いました。
- 【山谷会長】 容器包装プラスチックは透明の袋になっていますよね。それをさらに無色透明にという意味でしょうか。
- 【事務局】 分別の意識が高まったという意味だと思うので、「透明の袋にしたことで分別の意識が高まったと思われる」としたほうが正しいでしょうか。
- 【山谷会長】 容リ協会のベール調査があったかと思いますが、容器包装比率は上がったのでしょうか。
- 【事務局】 細かい比率は覚えていないのですが、毎年、国立市はA評価を継続しています。
- 【山谷会長】 「容器包装プラスチックについては、透明の指定袋にしたことで分別の意識が高まる」と期待できる」とか「高まると思われる」ということですね。
- 【十松委員】 23ページの④市管理施設での減量施策の強化の「審議会の評価等」ですが、「会議資料の電子化」かと思いました。
- 【山谷会長】 会議資料のPDF化ということですね。この審議会も来年からそうなるとういいますね。
- 【事務局】 庁内の会議で試験的な運用が始まっているのですが、事前に資料をタブレットに移しかえなければなりません。

- 【山崎委員】タブレットを持っている人であれば、メールで事前に資料を送付していただいて、それをタブレットにインストールして持ってくればよいと思います。
- 【山谷会長】できるだけそうするのが時代の流れですね。「会議資料の電子化」としましょう。
- 【山崎委員】全体的な数字の表記の仕方なのですが、%と℃を除く、例えばトンやグラムについては、半角で数値を示した後に、半角スペースを入れて単位を置くのが、論文では基本ルールになっています。また、リットルはℓではなく、Lが主体になっています。
- 【山谷会長】20ページの①事業系ごみの手数料の適正化ですが、国立市の事業系ごみ処理手数料はキロ当たり27円で、すごく安いと思います。多摩地域の事業系ごみをチェックしているのですが、一番安いのが小平市でキロ当たり24円、東大和市と武蔵村山市が25円で、その次が国立市です。多摩市は25円だったのですが、2年ぐらい前に35円に引き上げました。多摩川衛生組合の他の構成市は42円です。ここを早急に見直さないと、例えば府中のごみを国立のごみとして、27円で搬入することも考えられます。国立の税金が使われるということにもなり、非常に問題になりますよね。
- 【山崎委員】17ページの①分別の徹底ですが、もう来年度のカレンダーの原稿はできているのでしょうか。
- 【事務局】ちょうど印刷業者と内容を確認し合っているところで、2月の終わりから3月の頭にかけて全戸配布する予定です。
- 【山崎委員】カレンダーの後ろに分別の方法を丁寧に書いていますが、近所の人と話をしたりすると、意外と読まれていないのではないかと思います。デザイン性も含め、市民によりよく利用してもらう工夫に取り組んでもらえればと思います。
- 【隈井委員】41ページの⑦家庭ごみの有料化の「審議会の評価等」ですが、「家庭ごみ有料化を実施した結果、減量効果があらわれていることについて評価できる」としたほうがよいと思います。
- 【山谷会長】減量効果が出ていることを評価するということですよね。「審議会の評価等」についての審議はここまでとしたいと思います。

2. 答申書（案）について

- 【山谷会長】1ページから4ページの「評価に当たって」について、ご意見をお願いします。
- 【十松副会長】今年で平成はおしまいです、年の表記はこのままでよいのでしょうか。
- 【山谷会長】基本計画に基づく評価なので、基本計画に合わせて、西暦の後に括弧書きで和暦を入れましょう。
- 【山谷会長】多摩のほとんど全ての自治体が有料化をしている中で、国立市は遅れをとったところがあります。平成30年度のごみ量はもうちょっと多摩平均に接近するのではないかと思います。
- 【山崎委員】3ページの「EPR」には「(拡大生産者責任)」がなく、4ページにはありますが、最初に出る3ページの方に入れたほうがよいと思います。
- 【山谷会長】「(拡大生産者責任)」は3ページに移しましょう。
- 【隈井委員】2ページの「今後も引き続き経過に注視していく必要がある」は、「経過を」だと思います。
- 【山谷会長】そこは直しましょう。答申書についての審議は、ここまでとしたいと思います。

3. その他

答申書（案）については事務局で訂正等を行って、目次や資料を付し、会長に確認いただいたら確定版とし、答申の日程については改めて調整することを確認いただいた。

— 了 —